



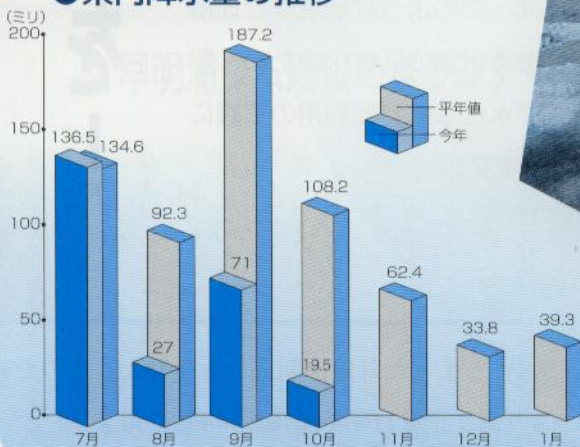
節水は
私たちがつくる
水資源

みんなの水

第24号

県内ダム等の
水事情が大変厳しくなっています。

●県内降水量の推移



高松地方気象台調べ

節水に
ご理解とご協力を

貯水率が4分の1以下に低下している内場ダム

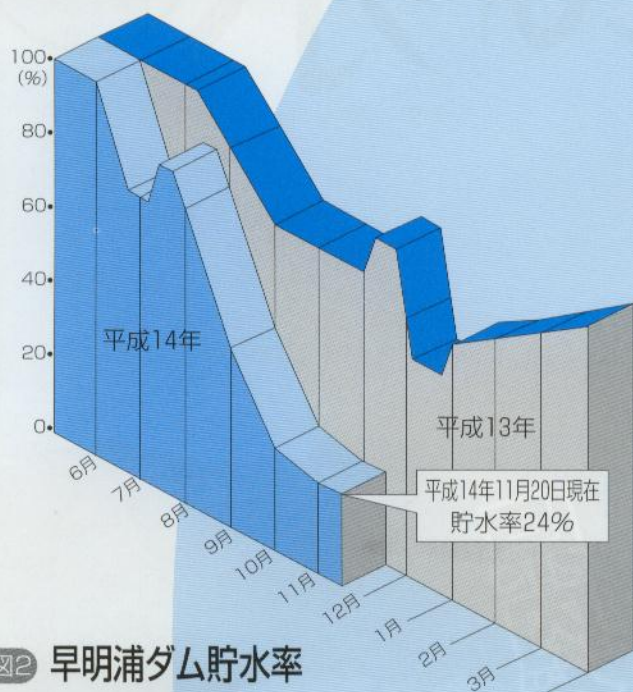
上の写真は、内場ダムの11月20日現在（貯水率24%）の状況です。内場ダムは四箇池とあわせて高松市の配水量の約半分を占める自己処理水源では最大のもので、この内場ダムをはじめ、県内の水源には、8月以降、降雨が極めて少なく、貯水率が過去最も低下しています。

冬季は、まとまった降雨が見込めないことから、来春まで平年値を大幅に下回る貯水率が続くと思われます。

節水にご協力ください！

節水と水の有効利用で 自己処理水源の延命にご協力を！

図1 内場ダム貯水率



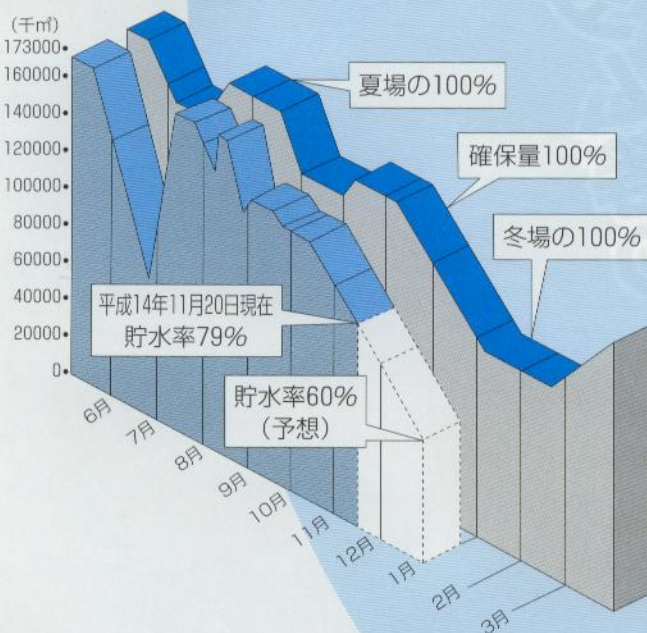
県内の8月以降の降雨量は、平年に比べて30%程度と非常に少なく、高松市の自己処理水源である内場ダムやため池等の貯水率が極めて厳しい状況となっています。また、瀬戸内周辺地域も同じように雨が少なく、すでに松山市をはじめ、岡山市などでは渇水対策本部が設置されています。

幸い、早明浦ダムの貯水率が79%（平年値約90%）程度ありますので、本市では現在のところ渇水対策本部を設置していませんが、このまま少雨傾向が続けば、同ダムの貯水率も低下を続け、今後まとまった降雨が期待できない冬季を迎え、取水制限の実施や渇水の長期化が懸念されます。

このような状況の中、本市では安定給水を行うために、香川県営水道用水（香川用水）からの受水増量をはじめ、予備水源や緊急補助水源の活用のために関係土地改良区等水利関係者にご協力をいただき、ため池等から水の融通をお願いしています。

市民の皆様には、このような状況をご理解いただき、限りある水源の延命化のため、早い時期からの、節水と水の有効利用の実践にご協力をお願いします。

図2 早明浦ダム貯水率



冬季渇水の特徴は

- 夏季の渇水と比較して、梅雨前線や台風等によるまとまった降雨が期待できません。このため渇水期間が春先まで長期化する傾向にあります。(例：平成11年冬季渇水は4月中旬まで)
- 早明浦ダムの貯水率は同じでも、夏と冬とでは確保量（今後の水需要に対し、この時期に必要な容量）が異なるため、同じ100%でも、実際は冬の量は夏の量の60%です。(図2参照)
例：夏場の100%…17,300万 m^3 冬場の100%…10,400万 m^3
- 関係土地改良区等水利関係者へ協力をお願いしていますが、今後、来年春以降の田植えなどに必要な農業用水を確保するため、水の融通にも限りがあります。